

総合開会式における入場行進の審査について

審査委員会

1 入場行進優秀校（優秀校17校、参加校80）

高崎健康福祉大学高崎高等学校	(34年連続34回目)
高崎女子高等学校	(2年連続28回目)
伊勢崎清明高等学校	(4年連続27回目)
前橋商業高等学校	(5年連続26回目)
前橋女子高等学校	(2年連続22回目)
共愛学園高等学校	(6年連続11回目)
高崎高等学校	(3年ぶり10回目)
東京農業大学第二高等学校	(9年連続9回目)
勢多農林高等学校	(4年ぶり9回目)
前橋市立前橋高等学校	(4年連続8回目)
前橋高等学校	(2年ぶり6回目)
四ツ葉学園中等教育学校	(5年連続5回目)
利根実業高等学校	(3年ぶり5回目)
新田暁高等学校	(5年ぶり3回目)
吾妻中央高等学校	(2年連続2回目)
桐生第一高等学校	(2年ぶり2回目)
太田市立太田高等学校	(初)

2 総評

総合開会式における入場行進等の優秀校の審査は、昭和61年度第21回大会から実施され、今回で33回目を迎えた。各学校における日常の集団行動の学習成果が十分に発揮され、特にここ数年全体のレベルが向上し、技量も拮抗してきている。高校生らしい、明るくはつらつとした行進が多く見られ、入場行進優秀校は17校であった。

優秀校について、連続受賞は10校、返り咲き受賞は6校、初受賞は1校である。なお、本年度特筆された優秀校は、高崎女子高等学校、東京農業大学第二高等学校、伊勢崎清明高等学校、四ツ葉学園中等教育学校、吾妻中央高等学校、前橋商業高等学校、共愛学園高等学校の7校である。

県高校総体の趣旨を理解し、充実した開会式ができるよう今後とも各学校の御尽力をお願いしたい。